

「報告」教育懇談会「いま、学校では」

—2018年度総会記念行事—

編 集 部

昨年以來、研究所は各地域に入って研究所の現状を報告し、会員からの要望を聞くなど今後の研究所のすすめ方などについて懇談会を開催して来ました。その中で、「現場の教員の声を聞きたい」との要望に応えて、2018年総会記念行事として、小中高それぞれ教員から学校・職場・子どもの様子を報告していただく企画を実施しました。(編集部)

A 先生 (小学校教諭)

2年生、30人の担任。クラスは四人の男の子が走り回ったりひっくり返ったりして大変で、かなり厳しい感じのスタートだった。授業は教育補助員、介助員がいるため、一人で担当することはなく、必ず二人以上で行うことができています。

9月のある日、7:00に出勤し、おたよりの印刷をしたり、黒板に当日の予定を書いたり。

7:40委員会の児童とともに、玄関であいさつ活動↓
8:00提出物や連絡帳のチェック↓8:15朝学習(マールつけなど)とつづいた。

1 限国語、作文(8:45)マラソン大会のことを書く。
2 限図工 粘土で楽しく学習。三角定規でいたずらをしてたり、ねり消しごむで遊んだりする子がいたので、取り上げると「てめえーなんで取り上げるんだ」と向ってきた。なだめ、諭す。

3 限体育(おにごっこ・ミニハードル)。ハードルのとりにあいで男の子と女の子がケンカ。
4 限算数 一人の女の子が急に泣いた。授業をやっている

るのか、ケンカの仲裁をしているのか、わからなくなる。
昼休み 全校遠足の事前指導中、一人が病院に行くとい
うので迎えに来た保護者に引き渡した。

5限 防犯教室。

放課後、防犯対策の職員研修、職員会議への文書作り。
クラスの女の子の母親から「学校がこわいと言ってい
る」という電話への対応。事情を聞き、安心してもらう。
19:00退勤。19:30帰宅。

質問への回答

○教育補助員が三人いる。管理職はへんなことを押し
つけたりはしない。

○教員の退勤時間は遅い人は、20:00や21:00。超
勤は60〜80時間。

○組合活動は小学校はほとんど無きに等しい。

○休み時間にはケンカの仲裁ばかりやっているような
感で気がぬけない。補助員とのチームプレーでやつ
ている。9月からはなるべく遊ぼうということので、
裏山に連れて行ったりしている。

○反抗的な子どもたちとの関係は、少しずつよくなっ
てきている。

B先生（中学校教諭）

就学援助率が高い。どのクラスでも、1/3は父子
家庭か母子家庭で、貧困家庭が多い。

児童相談所の世話になつている子が数人いて、教員
もだれが誰だかわからないような状況である。

発達障害の子が多い。

東京に行ったことのある子が少ないので、修学旅行
は東京にしている。初めて東京に行く子が多い。

朝6:10出勤、6:20学校着。まずお湯を沸かす。

男子はおとなしいが、昼休みに雄叫びをあげる子もい
る。

リーダーはみんな女子。

教員同士はうまくいっている。

若い教員が学校では話せないことをLINEで相談に
くる。

教員の仲が悪いとうまくゆかない。学校運営では校長
と協調しないとやっていけない。

新潟市内の中学校は50代の教員が半分くらいいて、あ
と5年ほどでその大半が退職を迎える。

ある中学には休職者が4人もいる。

質問への回答

○部活動の過熱化をおさえるのは、全国大会がなくならない限り、無理だろう。

○学校は学力向上をめざし、学力テストや過去問ふりかえり、WEBテストなどの指導をしている。

市教委は授業方法にまで口出しをし、チョークも同じ色を使うよう指導している。

○貧困家庭の子の特徴は、ごはんを食べられない、風呂に入らない子がいる、物を盗まない、転校生にあたたかい、など。

○就学援助は区役所が勧める。

○管理職も市教委も少人数学級の効果はわかつている。

C 先生（中学校教諭）

朝7・20に出勤し、8・00に学校に着く。

行きは高速道を使い、帰りは下道。高速道の手当は出ない。

教科担任は一人で、ソフトテニス部の顧問をしている。分掌はほかの学校の二倍の負担だが、一人だと教科の改革がどんどんできる。必要だと思わない事はやめた。定期テストの二日目は、テストのあとに、三時間、授

業がある。その後、専門委員会もあった。

職場の雰囲気はとて面白い、風通しのよさがある。

16・45勤務時間終了だが、その後、部活があり、18・00完全退校となる。昨年は18・20だった。

一昨年、部活の終了をなんとか短縮したいと思い、18・00で合意したが、校長がダメだといった。しかし、市から通達が出たら、コロッと短縮に応じた。

生徒は発達障害や、ボーダーの子が多い。総合学習の時間の職場体験は非常にがんばった。

質問への回答

○家庭で政治の話をしている子や身近で政治の話のある子は政治に関心をもつ。

○部活動は土、日のどちらかは休み、平日の一日は休むというのがガイドライン。

○一人教科担任制の長所は、自分の学んだことを三年間の見通しで実践できる、試すことができるということ。

○障害児の情報交換は頻繁にやっている。

D 先生（高校教諭）

学校は1/3くらいが就職希望で、その他は専門学

校や大学である。ほとんどが推薦のため、センター試験を受ける生徒はほとんどいない。進学校ではない。

進学校では進学校の困難さ、教育困難校は教育困難校の困難さがあり、一つの高校の例がすべての高校の勤務実態をあらわしているわけではない。

17・00勤務時間終了する。なるべくその時間に帰るようになっている。他の人は遅くまで残っている。勤務時間終了で帰るつもりだが、一つの仕事がうまくいかないと次々と遅れてしまう。

9月28日は、4時間、授業があった。授業が空きの時間は調査書を書いたり、授業の準備をしたり。

授業は小中に比べれば、高校はまだ自由が残っている。授業も教員の醍醐味である創意工夫が自由にできる幅が残っている。

18歳選挙権の下で、主権者教育に力を入れているが、最大の敵は県教委でも文科省でもない。生徒の無関心である。生徒の無関心に心が折れて実践を諦めてしまふ人が多いのではないか。

実践では、できるだけ日常的に政治の話が出るような雰囲気づくりを心がけている。

スポーツ庁の部活動のありかたに関する指針はものす

ごいインパクトを与えた。

県教委は、指針もつくり各校で点検もし休日設ける指導をしているので、一定の改善ははかれるだろう。

しかし、各校ともサッカー部や野球部などでは指針を守ることが難しいだろう。

授業は生徒を完全解放してやれば、おもしろいことができる。日々、おもしろいことをさがしながら授業をやっている。

質問への回答

○部活動の顧問は最大で四つのかけもちをした経験がある。部活の数を減らすのは大変。部活動をしないう生徒は、ほとんどがアルバイトをしている。

○生徒の政治的無関心はなぜなのか、正直なところわからない。政治のことを考えるのはダサいという考えもあると思う。

○声の大きい子がネットウヨで、まじめに考えている子は声が小さく、ひっそりと考えている。全国教研で研究者から、安保法制反対デモに参加した高校生が泣きじゃくりながら「学校ではこういう話ができないんです」と訴えた話を聞いた。

(文責・小野塚恒男所員)